



サカタニ友の会 ニュース

晴天なれど 波高し

上を見出し
の言葉を存
知のお方は、
恐らく、高



今、アメリカが海軍海軍の原子力大型航空母艦「カールビンソン号(写真)」を長崎沖対馬海峡



電報文で、敵艦隊を発見し、日本海軍東郷平八郎(元帥)が、夫本宮

これは1904年(明治37)〜1905年(明治38)、日露戦争(日本と帝政ロシア)の際、日本と大陸の海路遮断の為に、ロシア海軍ヨロペ側のバルチック海軍港から日本海に面したロシアのシベリア側のウラジオストク軍港、ロシア艦隊を移動させてきた。その情報得て日本海軍は迎撃するため、日本海に配備した。そして対馬沖から日本海に入るロシア艦隊を発見し、日本海軍東郷平八郎(元帥)が、夫本宮

私は、前戦時中、多分小学4年頃、芝居が戦時で出来ず、映画館になつてた南座で、民族の祭典「ドイツベルリンオリンピック」の記録映画を、学校の集団観覧を見た。その中で、マノンで1位2位(又は3位?)を日本選手が得て、甲の丸が、ボールにう本上がった。1位は採選手と南選手で、共に、当時は日本植民地下の、朝鮮半島の人だ。だつた。私にも、大に喜び、子供遊び競争し、旗を上げるゝた。

貝リンに次の「オリンピック」は、東京開催地。子供の頃から本好きで、店の番頭さんが読んで居た雑誌「キング」を密かに読んで、次の東京五輪を

発行者 株式会社サカタニ 西条サカタニ ファミリーマート サカタニ京阪七条店 〒605-0993 京都市東山区区吉町222 (七条こころ坂) Tel. 075-561-7974 URL www.sosake.jp/ E-mail info@sosake.jp 月刊 発行会員新聞 編集酒谷 義郎 E-mail yosirou@sosake.jp

第3日曜日開催日4月16日(定例:朝9時) 第147回 朝粥食へておしゃべり会 ご講演:長谷川ゆか (報告者) 高木英智様



本日の講師は朝粥会をならぬおびきり、朝が愉快」とおっしゃる
長谷川ゆかさん
以前に父上も登壇されたことがあり、今回は娘さんのご登壇です。

ご自身もニューヨークで活動されるに至るにたいさつたり、驚いたり、笑ったり。華道、書道、茶道を身につけた京都で、両親から海外は禁止されていたのに、ハプニング的に参加した着物コンテストの副賞でパリ旅行に行ったのをきっかけに海外に目覚め、外国めぐりをされ、ピカソ、ダリ、ガウディらを輩出したスペインに憧れて住みたいと言っても両親は当然反対。



講演後、会場でお粥をお食べる方々

められ、次々と高い評価を得て、アメリカの一流店や超有名な交流は広がり、MILKブランドは確固たる地位を築き、今日に至る。才能があれば人種も性別も年齢も関係ないアメリカ。河井寛次郎さんの「鳥が選んだ枝」が待っていた鳥」という言葉があります。MILKが選んだアメリカ、アメリカが待っていたMILKであり、出会うべくして出会ったニューヨークで制約とか境界とか息苦しいものとは無縁の人生を送られ、もう日本には帰れないとおっしゃる、ゆかさんのMILKが引き寄せる人の輪の広がりはこれからもますますパワーアップです。最後に、ゆかさんのピアノ演奏で父上の愛唱歌、琵琶湖周航の歌ーを参加者全員で高らかに歌い上げました。

毎月七日・恒例: 七条大橋をキレイにする会

日時: 五月七日(日)
集合: 七条大橋・東詰南
作業時間: AM9時〜10:30
掃除用具・手巾・雑巾・小さいスコップ等
各自(持参等)持参ください。
◇終了後 集面茶会
サカタニE 時間種お茶を 飲み反省会
写真・清掃協力
フリーパッドお入さん

祖父の葬儀は、敗戦直後九月二日

とんつぽ びです。5月号

なんた坂 こんな坂⑤

神式「で行われ
た。
長く勤めていた

番頭や丁稚さん達は、兵役で外地から戻ってなく、遠地の親戚は来られず、少し寂しい葬儀になった。幸い私は、六年生で夏休最終戦で疎開地から戻っており、父祖母、叔母等と、今にも起そうな祖父(58)の口元を水で濡らせた。それ迄人の死に目に会ったことがなく、死とはこんなにも呆気ないものと知った。今は亡き妹(多美子・三歳)は、祖父の顔に被さった白い布を取り払い、お爺ちゃん暑いやろと団扇で、祖父の顔に風を送り、通夜に来て下さっていた方々の涙を誘った。

祖父は、普段から、皇室を尊敬した明治人間。八月十五日「勅語放送」で敗戦を知り、天皇陛下様がお可哀想だ、私らが力不足で負けたと病気で、見えなくなった目から大粒の涙を溢した。そして病状が重くなり9月1日早朝、**五八歳** 亡くなったのだ。私は、十日祭迄、疎開地 **宇治市泉山** に戻らず、家に居た。翌日から左翼の闇夜なく、家々の窓から、明るい光が満ちていた。が、商売は、配給で、極僅の入荷で、商売は、開店休業状態だった。確かには無いが九月六日夕方、七条通り東山から西に向つて、ジープに続いて、大きな星状旗を掲げ、新聞記者らしい人が鈴なりに乗った自動車が行り抜けた。米進駐軍の先駆けだった。その数日後の夜中、それまで見たこと大きな軍用トラックが、七条通北側に、東大路から七条大橋迄、並び

駐軍。それに、ギンリ乗っていた大きな身体の米兵が、通りに降り、楽しんで話をし笑っていた。それを見て、彼の歴史たる戦力差を知り、負けて当たり前と子供心で思った。後、学期始めで、百歳山に、戻り、10月10日に京都に帰った。

新聞好き少年で、帰った翌日の記事で、エツと驚いた。私の誕生5年前から18年間、治安維持法で監獄に入れられていた徳田球一氏らの共産党員が解放されたこと有り。

日本中が、正義の戦争と協力した時代、祖父も赤い怖いと言っていたのに、こんな人が居たのだと知った。翌年貞教国民学校を卒業し、旧制5年制の立命館中学に入学した。

その後の2・1ゼネスト等も有り、政治に強く関心を持った。関心が強くなった。



稲荷山 ぶらり散策記
越智重史

余暇活動や生きがいとして、日常と異なることを見聞きし体験し楽しみ、日先の京都市議会等で無秩序なホテル建設ラッシュ、違法 民泊が大きな問題になった。京都のホテル開業は2016年13軒・1545室、2017年19年開業予定50軒以上・約7000室以上という。京都駅周辺は駅がホテルに囲まれて、このままでは京都が京都でなくなるという殺風景な状況を生み出そうとしている。『ラベル&レジャー』誌の評価も1位から6位に後退したという。さらに大変なのは、違法 民泊が数千規模と

あんまりよ

石動教子

り、やっぱ
なりのね。
震災は

東北でよかった」と発言した大臣が辞任し、新たに誰かが就任した。そんな大臣ばかりで、この国はよくなるのだろうか。

別件だが、よこためぐみさんのお母様が「国の恥です」と5年にもなる未解決に怒りをあらわにした。ほんとにそうだ。

不信を口にするのは、もの分かった人たちの、昔からのスタイルだが、困ったことに分からぬらしい人も少なからずいて、同じ一票を持つている。これが、民主主義の現実だ。

しかしながら、こいのぼりのためく空がある。落ち込みへの階段を引き返さなければと思う。空はつながらっているのだ。裂け目も綻びもなく。その空ともかく向きあってみよう。

なっている問題である。今年に入って2、3月と二気に増えているのと。我が伏見稲荷地域でも、民泊反対→住民一同という張り紙が目立つようになってきた。ただ正確を期さなければならぬのは、真面目に民泊を経営されている方もいるということだ。問題なのは野放図で悪質な民泊である。これが増えているのだから始末に負えない。ある地域では、狭い路地を入ったところにある8軒のうち4軒が民泊として利用され、残り4軒は独居老人が住んでいる。夜中にキヤリバック引く音が絶えず、間違えてインターホンを押され、住民の一人は、このままではここに住み続けられない」とまで言っている。空き家が綺麗になったら民泊だった地元住民に何の説明もない、静か

で、外出する。歩く。花は、桜は散ってしまったが、やがて葉桜若葉のこよなき新緑の季節になる。この季節の上昇気流に乗り、明るく身の回りを整理しなくちゃ。終末整理」も急がねば、と思う。認知症予防や、美容、筋トレもそれなりに意識はするが、枝葉のことであつて、大事なものはやはり、生き方。誘われて、一般社団法人生前整理普及協会」のアドバイザーの方のセミナーに参加した。とても、参考になった。

でも、所詮は自分でマイペースを進めるべきこと。ノウハウという骨格はなるほどとして、適量」を念頭に、そのプリントも、ありがとう、と捨てようとしている朝である。いや、遠い、故郷の父のことが脳裏をよぎるのだが、適量は日々越えている。どんならん生き方を一言で、と言えば、

日本って、世界ってどうなっているの、を現在進行形で知っていた

な住宅地がどうなるか心配」という苦情があちこちで起きている。違法 民泊は空家住宅を活用する例が多いが、民泊は旅館ではなくあくまでも住宅だということだ。ここにも落とし穴がある。

この問題での行政の対応が遅れている。まともな相談窓口が無いというのだ。市民が相談に行っても、たらい回しにされかねない。京都市がけしきりに叫んでいる おもてなしが空語になってしまふ。

観光する側(ファストの側)から見れば、日常生活する場を離れて常に戻りてから生活を向上させるものであり、観光を受け入れる側(ファストの側)から見れば、地域の文化や経済を振興し、人々が地域で生きてゆくための基盤となるもの」という。この双

くて東北から京都に来た」ということになる。嘆いても特攻隊で戦死した伯父は帰らないし、戦時下の貧しさは素敵じゃなかった。新しい時代の、新しい女性になりたかった。

で、早くも人生の楽章に至っているのだが、残念なのは、見たいと願った新しい時代は、いつからか停滞、衰退、混濁をあらわにし、昔の景色に、似て来たことだ。こんなせこい、横暴な国に誰がしたの失望ばかり。おらほの言葉で言えは、ミダグナス 見たくない」この上ない。

東京はテレビで見ればわかるし、と京都への志も正解だったのだが、今はどうか。ともかく、戦争前夜」と言えそうな雲行きを世界的に見せつけられ、私の 生前整理」も滞りがちだ。日本一と聞いて預けたわずかばかりの退職金も世界の中で消えそうなんて、あんまりよ。

方の違う目的が観光地という場所である。双方がうまくかみ合つてこそ おもてなし」が生きてくるだろう。とにかく京都に金を落とすべくくれれば良いという水準でホテルラッシュ、違法 民泊」対策を野放しにすれば京都観光の命取りになりかねない。いよいよ4月を迎え春の観光シーズンである。伏見稲荷神社辺りはまるで初詣のような賑わいを醸し出している。観光客をいかに増やすか、そのための宿泊施設の建設と、量の問題ばかりに目が行くようだが、いかに良質な観光を楽しんでもらうかを考えなければならぬだろう。品格ある観光を考える必要があるのではないか。観光する側(ファストの側)から見れば、日常生活する場を離れ

京都&東山 ぶらりピカリ

73

七条通

この欄は七条通り

とは離れ、東山の「將軍塚」にし
た。そこは少年時代、良く行つた
場所。八十年以上生き、老いた今
も、何かで激しく悩んだ時、そこ
から見える京都の町々の姿を見て、
気を落ち着かせ、
元気を貰つて来た。
悩みだけでなく
家族、思想、商売
等々で、どの方向
に進もうかと決断
をしなければならぬ、幾度かの
別れ道」の場面でも、そこで決
断した。私の霊場の様な 東山將
軍塚」である。



今号の欄は七条通り

、**¥**が、青少年時代は、真つ暗
闇の中、山道を懐中電灯で足元を
照らしながら其処 **將軍塚**へ行
き、そこで、出、悩みをから見え
る、京都の町並みを眺めた。そし
て、小さな自分の悩みを吹き飛ば
し、もう一度、自らを見直し、元
気を貰つたことも有る。殆どの場
合は、その途中に有る祖父父母と父
の三人の眠る「清水山墓地」をお
参りした後でだ。

將軍塚に行く途中に「稚児ヶ池」
が有り、其処で泳いだ。藻が多く、
パンツを履いて泳ぐと、青く染ま
り、家で洗濯際、叱られるので、
そこを通る人も殆ど無く、スッポ
ンポンの「フリチン」でだった。
この池は六百年ほど前、お稚児が
「大柱」になつて死んだことから、
この名になつた聞く。その当時、
鶴の池と呼ばれていたそうだが、
以後「稚児ヶ池」と呼ばれる様
になつたと言ふ。この稿を書くので、
その辺りを見に行つたが、池の横
に「料理旅館」出来て、綺麗に整
備されていたが、
一面に藻が茂つて、
水が見えない状態
だった。
さて、その將軍
塚は、東山ドライ
ブウェイ展望台駐車場すぐ近くに
ある。円山公園東の華頂山頂大日
堂の境内にある円墳 **写真**。直径
13 m 高さ1.8 m 764年 延暦
13 桓武天皇が平安遷都に際し王
城鎮護のため、**イハ** 祭の土人形
に鉄の甲冑を着せ、弓矢を持たせ
て埋めたことが「保元物語」平
家物語」などにある。また征夷大
將軍坂上田村麻呂ゆかりとする伝
説もある。少年時代に、京の町に
異変が有る時「東山が唸る」との
伝説があると聞いていた。が、私
の **ゆ** 5年生の時、そこから直線
で1キロ余の、東山区「馬町」が
爆撃された時は、山は唸らず、東
山の人々が爆死され、傷ついた人
達が「唸った」。



さて、その將軍
塚は、東山ドライ
ブウェイ展望台駐車場すぐ近くに
ある。円山公園東の華頂山頂大日
堂の境内にある円墳 **写真**。直径
13 m 高さ1.8 m 764年 延暦
13 桓武天皇が平安遷都に際し王
城鎮護のため、**イハ** 祭の土人形
に鉄の甲冑を着せ、弓矢を持たせ
て埋めたことが「保元物語」平
家物語」などにある。また征夷大
將軍坂上田村麻呂ゆかりとする伝
説もある。少年時代に、京の町に
異変が有る時「東山が唸る」との
伝説があると聞いていた。が、私
の **ゆ** 5年生の時、そこから直線
で1キロ余の、東山区「馬町」が
爆撃された時は、山は唸らず、東
山の人々が爆死され、傷ついた人
達が「唸った」。

市電が走った 京都を巡る

75

福田静一



市電の
東北端に
当てる高野

の停留場に到着した市電は、向きを南
に返して、東大路通を南下します。左
手に高野中学校、右手に東大路高野
団地を見て、つぎの停留場「田中大久
保町」を過ぎると、右手には左京消防署
があり、市電は、ゆとりたりした東大路通
を進みます。まもなく到着するの
が「叡電前」の停留場です。

市電時代は、京福電鉄叡山線(現在の
叡山電鉄線)と斜めに平面交差していま
した。京福側には元田中駅があり、相
互に乗り換えが可能でした。終点の出



叡電前に到着した市電

当時の京福叡山線と
平面で交差する市電



町柳での乗り換えは、市電まで少し歩か
なければならず、京都駅・祇園方面は
本の市電で行けるため、乗り換え客に
は重宝されていました。その数多くはな
かつたものの、市電・京福の乗り換え客
目当てに、付近には飲食店も並んでいま
した。叡山線がまたポール集電の時は、
架線が引つかからないよう、車掌はポ
ール紐を押しさながら、交差部を渡つて行つ
たのです。
京福叡山線は、大正十四年、出町
柳(八瀬)が開業します。市電東山線は
まだ未開通で、交差部より出町柳寄り
の堂石郡田中村の中心部付近に、元田
中駅が設けられます。田中村は大正七
年に京都市に編入されており、田中の
名は、京都市の広域地名として残ってい
ましたが、元とある田中村を指す駅名
として「元田中」となりました。そして、昭
和十八年に市電東山線が開通、叡山
線との交差部分に「元田中」駅も移転、市
電の停留場は「叡電前」となりました。
さて、市電末期の頃は、市電から
叡山線八瀬方面に渡るポイントの跡が
残っていました。かつて市電が叡山線に
乗り入れた証跡でした。戦後、自治
体では復讐財源の確保のため、公営の競
輪・競馬が始まり、京都市でも京福電
鉄手池駅の西側に生手池競輪場を設
けます。観客を市内ターミナルから乗り
換えさせて運ぶため、叡電前の停留場に、
市電と京福の渡り線を設置、昭和二十
四年十二月からレース開催日に、京都
駅前、四条大宮から宝寿池当時の駅
市電の停留場ともなりました。
しかし、直通乗り入れは昭和三十年
九月限りで取り止めとなり、ポイント部
分はすべて撤去されましたが、渡り部分の
レール、敷石は、市電が廃止される直前
まで残っていました。なお市電廃止後に
「叡電前」に相当する市バス停留所は
「叡電元田中」となり、「叡電前」の名称
は、一時、出町柳駅の前の川端通上の
市電の停留場ともなりました。

何んた坂 こんな坂

敗戦後
の暫くは
日本中、
⑥ 肝抜けの状

態だった。縁故を頼るとか、集団疎開で北桑田郡平屋村現、美山町に行っていた学友達が、元の住所に戻り、学校は賑やかになった。幸いにして「京都は大空襲」を免れたが、他の大都市は、大変な悲惨な目に遭遇されている。

学校は、賑やかにはなつたが、戦時中の教科書は使用禁止。ガリ版刷りや不都合部分を、黒く塗り隠し使われた。先生も、**どんな基準でか**教職追放で、突然に学校へ出て来られない先生も有り、授業の飛んだ日もあった。

物資配給の仕組みも壊れ、衣・食品の物資不足が起こり、通常の分配仕組みの裏側で、「闇取引」が流行した。その「闇」の、集団市場が出来た。七条通高倉 現出光石油スタンド南側から、京都駅付近に。

そこでは、お金さえ出せば、生活必需品は、何でも買えた。偶に、物価統制法違反で警察が取締りするが直ぐ元。その付近に、店の元丁稚さんで、大好きなだった

「マーチ(天八木政夫さん)夫婦」が住み、闇市へ連れてもらった。経済復興が進み闇市は消えたが、今や著名店になったラーメン屋店は、その

敗戦闇市の絵



当時既に有つた様な記憶が有る。

その頃、闇市を仕切る「組」と「朝鮮人団体」が絡み、七条警察署署が、占拠される「七条警察署襲撃事件」が起こつた。七条警察署付近や京都駅近辺の交差点は、其処を護るヤクザ風の人達が、日本刀を持ち焚火を囲んでいた。一時は、市電も止まり、私が通学した「立命館中学」が休校になるほどの大事件だった。数日後、米占領軍MP(軍警察)出動と「ある組の組長？」の采配で事件は治まった。私の記憶では、当時、闇米を運んでいた朝鮮人の逮捕が事件の発端だった。又、五味康介氏の小説にも、「組の賭場」の事が書かれていた。インフレが進み、入学時、15円だった授業料は6年後の卒業時は、50倍も上がり75円になった。(昭22年迄) 我店は、酒屋と国民酒場だった。

証明写真 月三天



正月から三月までが春。四月から六月までを夏とし、七・八・九月は秋。十・十一・十二月は冬となる。四季とは季節の変化であり、すなわち風の動き、要するに気圧配置である。空の動きと海の動きは密接に関係して、海の動きが変われば空の動きが変わり、有るはずも無いところに災害を引き起す。

地軸というのは地球に刺さっているエネルギーの棒である。球体に金属の棒がやや斜めに突き刺さっていると考えればよい。人間の体も同じだ。

みんな友達 Fumiko Kokketu

日差しも暖かくなり、春の訪れを感じられるようになりまし。

いと別れの季節。ウクレレとギターのフラリーパッドはこの春、とても感動的な別れの場面に立ち会わせていただきました。フラリーパッドは、音楽活動を通じてご縁で、東日本大震災の津波被害を強く受けた岩手県宮古市と4年前から交流をさせていたのだと思います。今年、3月上旬に京都で震災復興支援イベントを開催し、そこで集まった義援金を下旬に宮古へ直接お届けに行ってきました。宮古では義援金の贈呈のほか、地域の方々の音楽交流会にも参加し、子供たちと合同演奏など音楽を通じた交流を深めました。



今回の宮古訪問の目的の一つに、市内のある児童館の最後の卒園式に出席することがありました。この児童館は5年の歴史があり、6年前の震災では被災した他の保育施設から子供を受け入れた他、地域の子どもたちの成長を見守ってきた施設です。子供たちの歌声が響きわたる児童館には、卒園・閉館の二つの別れの思いが交差し、感動の空気に包まれました。フラリーパッドもこんな貴にもドル重な場面、自分たちの曲が歌われていることに感激でした。この児童館の子供たちは、今やフラリーパッドにとって、かけがえのない友達です。これから歩む新しい生活も、みんな元気で頑張ってください。京を一つにしてくれました。

エネルギーの棒が突き刺さっていて、そこから排出されるエネルギーによるプラスとマイナスのバランスが取れている。この、地球に突き刺さっているエネルギーの棒が、天と、海・陸を含んだ地の動きを決める。だから決まったところに様々な自然現象が起き、自然現象があまり起こりにくいところに、起きてても対応しきれるところに人間は住むようになった。さて、この地軸にズレが生じたらどうなるだろうか？天の動きと地の動きが地軸に合わせようとしてズレはじめる。徐々に気候・気圧・気温、それによつて引き起される現象が変わってくる。人間の体も多分バランスが悪くなるだろう。骨折や病気が増える。理由は、慣れていたエネルギー環境のうーん、そうなたた時には地球が爆

編集後記

▽5月号が発生、配布も、ネットアップも遅れました。ご投稿下さった方々や、読者様に、深くお詫言申します。
▽そのエッセイも私の初歩的ミス。パソコンは、漢字を数字を入れて削る頃から使ってますが、頭が理数系でなく文系の為でしょう。
▽その上、年齢も、今や、83歳。今も、新聞を眼鏡なしで読めるのですが、つい今、手から放した物を置いた場所を忘れる事、再々も限度かなあ...です。
▽只、常に書かなければプレッシャーで、何時も話の種類を探します。それがボケるスピードを、少しだけ落として呉れてると勝手に思っています。
▽この80年は、戦時。戦後そして現代に至る日本の大変動期でした。大きな犠牲も払っています。が、今は、何と無く平和？
▽でも、世界中が平和では有りません。戦争をした、国や人も有る様です。戦争はトランプではなく、人殺しです。怖い怖い！
▽平和になつて、ベルリンの壁は取り払われましたが、メキシコには、最近壁が造られていようです。
▽ケンタイナ話やなあ。
▽その点で、日本は、周りに海、気が楽。デモ走は世界中繋がっています。空には壁が造れまん。三月は、大切な憲法記念日でした。